



会員寄稿

「大洲あるある」

校長 若江 亨

このたびの異動で、三崎高等学校より赴任してまいりました。どうぞよろしくお申し込み申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今回は保護者の皆様へ私の地元の紹介をさせていただきたいと思います。私の地元は松山市の三津です。「三津の渡し」が有名でしょうか。行政上の呼称は三津浜なのですが、地元の者は三津浜ではなく、三津を使っています。これは三津あるあるの一つです。学校は三津浜小・中学校、JRでは三津浜駅ですが、伊予鉄道では三津駅です。秋祭りの巖島神社でのけんか神輿は三津VS古三津です。お好み焼きは、広島焼きの影響を強く受けた三津浜焼きと呼ばれるものです。私は子どもの頃から、土曜日・日曜日には、近所のおばちゃんが一人でやっているお好み焼き屋に昼ご飯に食べに行っていました。広島焼きとの違いは、そばだけでなく、その日の気分でうどんを入れてもらうことも多いことや、ちくわの輪切りを具に使うなどでしょうか。三津で最も地元が燃えるイベントは、夏の花火大会です。地元では「港まつり」と呼んでいます。これも三津あるあるです。この日は三津の住民のほぼ全員が、家族連れで三津浜港へ繰り出します。私も子どもの頃、両親に連れられ、妹と家族四人で花火見物に出かけ、自分が親になってからは、妻と二人の子どもを連れて行きました。子どもは二人ともとっくに成人し、県外で暮らしており、現在は妻と二人で、港までは出かかず、自宅の近くで見物スポットを見つけて、そこで見物しています。

現在、私は大洲で一人暮らしをしています。初めて住む大洲では、まず肱川のゆったりとした流れ、そのほとりに建つ大洲城の美しさが印象的でした。夜間のライトアップされた大洲城はさらに美しく、家からずっと眺めてしまいました。また、国道56号線沿いに様々な店舗や食事をする所があり、景色が美しく、便利で住みやすいところだと感じています。そんな私が一つ気付いたのですが、国道56号線沿いに、たくさん焼き肉屋さんがあるように思います。これは大洲あるあるでしょうか。これから私は大洲あるあるを見つけていきたいと思っています。そして保護者の皆様とのこれからのお付き合いの中で、また、大洲高校の生徒とのやりとりの中で、たくさんの大洲あるあるを教えてくださいたいと思っています。

結びになりますが、本校の教職員は保護者の皆様の大切なお子様一人一人の成長を日々見守り、社会に貢献できる人材として、さらなる成長が叶うよう精一杯指導し、支援してまいります。今度とも大洲高校を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。